

国立精神・神経医療研究センターの変遷

時代の要請に応えるため、常に変化を遂げてきたNCNP。
これからも病院と研究所が一体となった国立高度専門医療研究センターとして、進化し続けていきます。

1940年～

傷痍軍人武蔵療養所

傷病兵の中の精神疾患患者を収容する施設として現在の東京都小平市に開所される。



創設時の傷痍軍人武蔵療養所

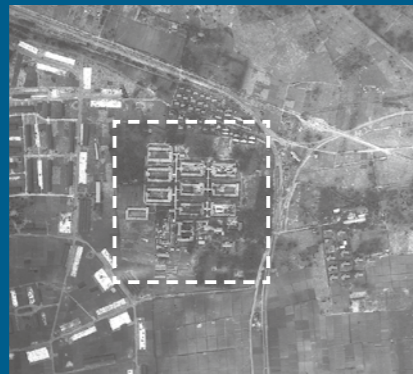


1941年の航空写真

1945年～

国立武蔵療養所

1945年12月、国立武蔵療養所に改称され、女性を含む一般国民が入所可能となり、国立の精神科病院として再出発する。



1948年の国立武蔵療養所

1978年～

国立武蔵療養所神経センター

国立武蔵療養所の一機構として、国立武蔵療養所神経センターが発足する。



国立武蔵療養所神経センター

1986年～

国立精神・神経センター (武蔵病院、神経研究所、精神保健研究所)

国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合。それぞれ国立精神・神経センター武蔵病院、同神経研究所、同精神保健研究所と改称される。その後、2008年に武蔵病院が国立精神・神経センター病院と改称される。



2008年の国立精神・神経センター

2015年～

国立研究開発法人化から現在

2016年
センターは30周年を迎え、新たな時代へ

2015
2010
2005

2010年～

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター

国立精神・神経医療研究センター病院、同神経研究所、同精神保健研究所に改称。

2011年の国立精神・神経医療研究センター



1938
1940
1945
1950
1952

1938年～

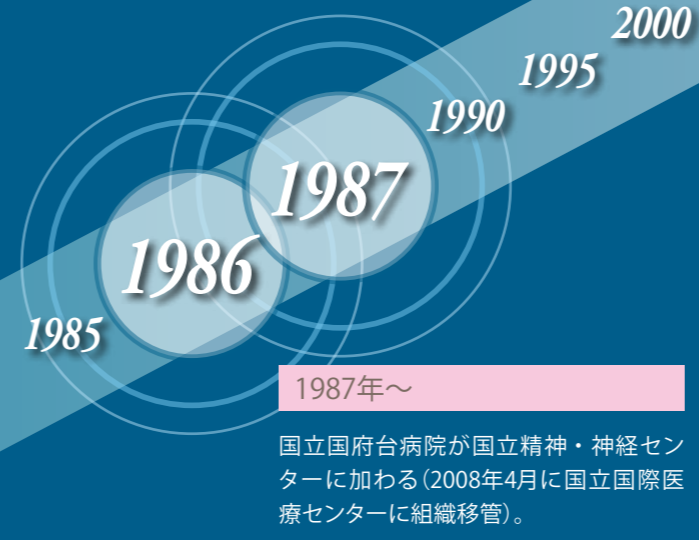
国府台陸軍病院が精神神経疾患対策のための特殊病院に指定される。戦後は国立国府台病院に改称。

1952年～

精神衛生法制定時(1950年)の国会附帯決議に基づき、千葉県市川市国府台に国立精神衛生研究所設置。



創設時の国立精神衛生研究所



●病院	
1940年12月	傷痍軍人武蔵療養所として設立
1945年12月	厚生省に移管、国立武蔵療養所として発足
1978年1月	国立武蔵療養所神経センターを併設
1986年10月	国立精神・神経センター設置により、同武蔵病院に改称
●神経研究所	
1978年1月	国立武蔵療養所神経センターとして設立
1986年10月	国立精神・神経センター設置により、同神経研究所に改称
●精神保健研究所	
1952年1月	国立精神衛生研究所として設立
1960年10月	精神薄弱部を新設
1965年7月	社会復帰部を新設
1973年7月	老人精神衛生部を新設
1986年10月	国立精神・神経センター設置により、同精神保健研究所に改称 精神保健計画部、薬物依存研究部を新設

●センター	
1986年10月	国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合し、国立精神・神経センターを設置
1987年4月	国立国府台病院が国立精神・神経センターに加入
1987年10月	神経研究所に遺伝子工学研究部を新設 精神保健研究所に心身医学研究部を新設
1999年4月	精神保健研究所の精神薄弱部を知的障害部に名称変更
2000年4月	神経研究所に遺伝子疾患治療研究部を新設
2003年10月	精神保健研究所に司法精神医学研究部を新設
2005年3月	精神保健研究所が小平地区へ移転
2005年7月	全国で初の医療観察法病棟(8病棟)を新設
2006年10月	精神保健研究所に自殺予防総合対策センター開設
2008年4月	国府台病院は国立国際医療センターへ組織移管 武蔵病院は国立精神・神経センター病院に名称変更
2008年10月	トランスレーショナル・メディカルセンター(TMC)発足
2010年4月	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター設立 センターとして2つ目の医療観察法病棟(9病棟)を新設
2010年9月	センター新病院竣工
2011年4月	脳病態統合イメージングセンター(IBIC®)発足 認知行動療法センター発足
2011年12月	精神保健研究所に災害時こころの情報支援センター開設
2014年7月	教育研修棟竣工
2015年4月	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センターとなる メディカル・ゲノムセンター(MGC)発足